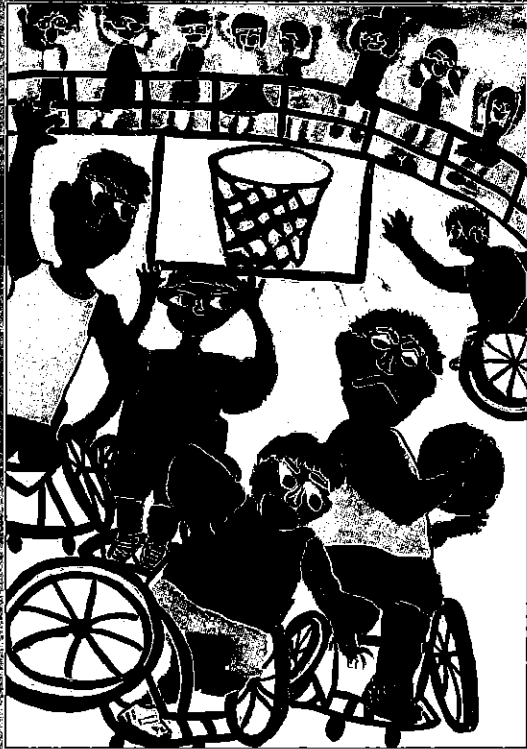


# みんなで作る 共生社会



～共に生き、共に考える、明日を～  
障害の有無によって分け隔てられることなく、  
相互に人格と個性を尊重し合いながら共生す  
る社会の実現を目指します。

## 1 障害者フォーラム2014

平成26年12月3日(水) 13:00～17:00  
会場：中央合同庁舎第8号館 11階講堂

## 2 障害者週間「連続セミナー」

平成26年12月5日(金) 10:00～20:00  
6日(土) 9:20～20:00  
会場：有楽町朝日ホール11階 スタジオ

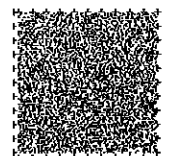
## 3 「障害者週間のポスター」原画展

平成26年12月4日(木) 13:30～18:00  
5日(金)～9日(火) 10:30～18:00  
10日(水) 10:30～16:00  
会場：有楽町朝日ホール11階 キャンラリー

## 4 障害者週間の関連行事

平成26年12月4日(木) 10:30～16:30  
会場：有楽町朝日ホール12階

毎年12月3日～9日は障害者週間です。障害のある人もない人も共に生きる社会へ



# 1 障害者フォーラム 2014

入場  
無料

「共生社会」の理念の普及を目的に、1部では、作文・ポスターの最優秀作品への内閣総理大臣表彰、2部では、「障害者権利条約を批准して」をテーマに基調講演とパネルディスカッションを行います。

お申込み・お問い合わせは、  
平成26年度「心の輪を広げる障害者理解促進事業」事務局までお願いします。

定員150名  
事前申込要

## 第1部 表彰式 (「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間のポスター」)

開催日 平成26年12月3日(水) 13:00~14:00

会場 中央合同庁舎第8号館 1階講堂 主催 内閣府

- ① 主催者挨拶 (内閣府特命担当大臣)
- ② 審査講評
- ③ 内閣総理大臣表彰
- ④ 後援団体副賞贈呈
- ⑤ 心の輪を広げる体験作文最優秀作品朗読



平成25年度作文最優秀賞朗読 (小学生部門)

## 第2部 「障害者週間」記念シンポジウム

テーマ「障害者権利条約を批准して」

開催日 平成26年12月3日(水) 14:30~17:00

会場 中央合同庁舎第8号館 1階講堂 主催 内閣府

我が国は平成26年1月20日に障害者権利条約を批准し、2月19日に発効しました。今年のシンポジウムでは、「障害者権利条約を批准して」を全体テーマに、条約の批准を祝いその意義を確認するとともに、条約履行や障害者差別解消法に関する期待や課題について理解を深めます。



平成25年度「障害者週間」記念シンポジウム

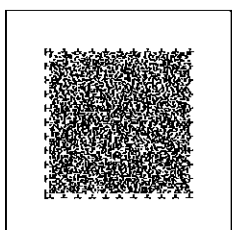
### 基調講演

講師 石川 准氏 (障害者政策委員会委員長/静岡県立大学教授)

### パネルディスカッション

コーディネーター 尾上 浩二 (内閣府 障害者制度改革担当室 政策企画調査官)

### コメンテーター



石川 准氏



青木 志帆氏  
兵庫県弁護士会



明石 洋子氏  
一般社団法人  
川崎市自閉症協会  
代表理事



山崎 泰広氏  
元パラリンピック水泳選手  
株式会社アクセス  
インターナショナル代表

### パネリスト

# 2 障害者週間「連続セミナー」

入場  
無料

定員100名

障害者週間の行事の一環として、障害者週間の趣旨にふさわしいセミナーを各団体が実施します。

開催日 平成26年12月5日(金)～6日(土)

会場 有楽町朝日ホール11階 スクエア 主催 各団体

お申込み・お問い合わせは、  
各セミナー主催団体(最終頁参照)までお願いします。

12月5日(金)

## ★ 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

10:00～ 発達障害者の雇用を促進するために  
12:00 ～一般高校、大学の卒業者等に対する支援の在り方について～

発達障害者の雇用促進について、近年、一般高校や大学を卒業し、就職困難となった発達障害者が増えている現状を踏まえ、「大学等の教育機関と連携した支援をどう行うか」に焦点を当て、企業現場における課題とその対応について意見発表及びディスカッションを行い、今後の方策について参加者とともに考える。

## ★ 特定非営利活動法人 メディア・アクセス・サポートセンター

13:00～ 感動をみんなのものに～映画を通して障害のある人とまざる社会を考える～  
15:00

目が見えない方、耳が聞こえない方に映画を届けるためには何が必要なのか。登場人物の行動や場面転換などの視覚情報を解説する音声ガイド、音や話者の名前などの音声情報を表示するリアフリー字幕の体験・活動の紹介を通して、普段から障害のある人と当たり前に接点を持つにはどうしたらいいか、ということを考える。

## ★ 若年脳損傷者ネットワーク

15:30～ “若年脳損傷者”を生きる  
17:30

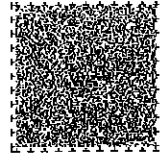
植物状態については「意識の有無」のみに気を取られ、手立てを尽くし切らないまま回復不能と判断しがちだが、損傷が重篤であればあるほど、国際生活機能分類の視点で支援を考えるべきである。脳機能とは「生きることの全体像」の統括に他ならないからである。脳損傷後の不合理な格差の解消に向けた新たな法整備を訴える。

## ★ 一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

18:00～ 発達障害とその課題  
20:00

発達障害者支援法が施行されて9年、日本における発達障害を取り巻く状況も大きく変化してきた。この間、発達障害の社会的な認知が広がってきた一方で、発達障害に関する様々な誤解も散見されている。本セミナーで発達障害についてその特性や現在の課題を整理し、参加者とともに理解を深めたい。

12月6日(土)



### 特定非営利活動法人 全国失語症友の会連合会

9:20～ 11:20  
「失語症を知って下さい」～失語症者の生活を支えるために～

失語症は脳卒中・脳外傷・脳炎等の後遺症の言語障害。話す・書く・聞く・読む・計算する等が困難になる。身体麻痺と違い外見から解らないので、日常多くの困難を抱える。全国に50万人と言われる失語症者の実情と障害の正しい理解、失語症の方への合理的配慮について、参加者とともに考える。



### 公益社団法人 日本社会福祉士会

11:30～ 13:30  
障害福祉の現場で働くこと～社会福祉士の実践から～

障害者が受け身的(保護的)に支援を受けるのではなく、障害者が自ら力を得て主体的に自立が図れるような支援(エンパワメント)を行うためには、どのような支援の方法が必要なのか。障害者の自立に向けた支援について、現場で働く社会福祉士(相談援助専門職の国家資格者)の実践報告を通して、参加者とともに考える。



### 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

13:40～ 15:40  
真に「人」に役に立つロボット介護機器開発の動向

ロボット技術は新成長戦略の中にも位置づけられ、特にロボット介護機器は平成25年度から経済産業省の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」として大規模に研究開発がはかられている。その概要を紹介して、真に障害者等の生活機能低下者に役立つための具体的戦略と方法をともに考えたい。



### 公益社団法人 日本オストミー協会

15:50～ 17:50  
オストメイトとトイレ

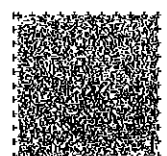
腹壁に造られた便や尿の排泄口のことをストーマと言い、それを造設した人をオストメイトと呼ぶ。括約筋がない為、排泄を我慢することができない。外出時は装具からの漏れ等の不安がつきまとい、万一の時に安心して装具交換できるトイレは必須。オストメイト等にとってのトイレを例に挙げ、障害への理解を求める。



### 特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会

18:00～ 20:00  
精神障害を持つ方の「住まい」と「暮らし」を街の中で  
～障害者権利条約と精神保健福祉法の示す未来～

2014年2月19日に効力を発生した障害者権利条約。また、精神保健福祉法では、医療の適正化や家族の過度な負担を軽減すべく、重要な改正がなされた。国際的にも遅れていると言われる精神障害者への福祉・医療において、当たり前前に街の中で「住まう」「暮らす」を実現していく為に必要な事は何か参加者とともに考える。



# 3 「障害者週間のポスター」原画展

入場  
無料

全国の小・中学校等から公募した「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の優秀作品の原画を展示します。

開催日 平成26年12月4日(木)

13:30～18:00

5日(金)～9日(火)

10:30～18:00

10日(水)

10:30～16:00

会場 有楽町朝日ホール11階ギャラリー

主催 内閣府

平成25年度「障害者週間のポスター」優秀作品

小学生部門最優秀賞



かたやま あいり  
片山 愛梨  
宮崎県・新富町立  
富田小学校4年

小学生部門優秀賞



もりや まなみ  
森屋 愛美  
北海道・北海道帯広  
豊学校小学部2年

中学生部門最優秀賞



はまぐち さえ  
濱口 紗衣  
愛知県・犬山市立  
南部中学校2年

中学生部門優秀賞



かわはた まいか  
川畑 舞佳  
佐賀県・鳥栖市立  
鳥栖西中学校3年

## 4 障害者週間の関連行事

開催日：平成26年12月4日(木)

10:30～16:30

主催：日本障害フォーラム (JDF)

会場：有楽町朝日ホール12階

### JDF十周年記念フォーラム

権利条約の批准と私たちの社会  
～私たち抜きに私たちのことを決めないで～

【プログラム】

午前の部

来賓挨拶・記念スピーチ

政府、および関係国駐日大使館等より予定

啓発プログラム

JDFの歩み／イエローリボン紹介／ビデオメッセージなど

午後の部

記念シンポジウム

ジュディ・ヒューマン(米国国務省 特別顧問)／  
マリア・ソレダード・レイエス(国連・障害者権利委員会委員長)／  
久松三二(JDF幹事会副議長／全日本ろうあ連盟事務局長)／  
その他、人権等に関する関連分野より  
コーディネーター 藤井克徳(JDF幹事会議長)



Yellow Ribbon

イエローリボンは、障害者権利条約の内容を広く市民のみなさんに知っていただき、日本での条約実施を目指すためのシンボルマークです。障害のある人びとの、その人らしい自立と社会参加をめざします。

